

2019テイスト・オブ・ツクバ SATSUKI STAGE

Taste
of
Tsukuba

公式通知 No. 2

JASC
J.A.S.C. Foundation

2019年4月23日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

【ご注意・お願い】

オイル・液体漏れは、自分だけでなく周りに多大なる悪影響もたらしめます。今一度ご確認を！

ピットレーンの制限速度が40Km/h以下となっております。ご注意ください！

発行されたバス・駐車券の不正使用（カラーコピー・使い回し等）は許されません。不正が発覚した場合には、エントラント（ライダー・チーム）にペナルティーがかかります。あらためてご認識いただきますようお願いいたします。

喫煙マナー向上にご協力ください。**タバコは決められた喫煙場所でお願いたします。** ルールの遵守をお願いします。
また、電子タバコやノンアルコールビールなどの紛らわしいものについては十分配慮下さい。

1. 駐車場

トランスポーターには必ずエントラント駐車券を掲示して入場すること。駐車券の無い場合は一般駐車場(有料)に駐車すること。

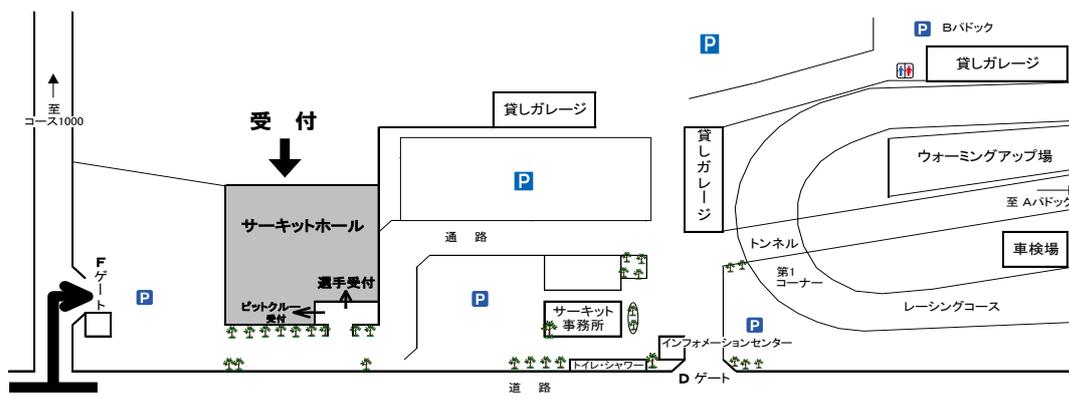
2. ライダー受付（筑波サーキットホール）

(1) 時間：タイムスケジュール参照（公式車検の時間の早いクラスを優先して行います。）

(2) 提示物：①**2019MF J競技ライセンス**（提示できない者は理由の如何に関わらず参加できない。）

②参加受理書 ③車両申告書（未記入の車両申告書では受付できません。）

④その他、クラスによって提出が義務付けられているもの。 ※健康保険証は各自で用意しておくこと。



★連絡車は自転車に限る（ミニバイク、スクーター、セグウェイ等は禁止）

3. ピットクルー受付

(1) 受付時間帯はタイムスケジュール参照のこと。**2019MF Jピットクルーライセンス**を必ず持参すること。

※MF Jライセンスのない方をエントリー時に登録した場合は、ご本人であることがわかる物（運転免許証等）をご持参下さい。

(2) ピットクルーのクレデンシャルは受理書に同封する。ピットクルー受付を済ませていなかったり、ピットクルーとして登録されていない人がバスを使用するなど、**不正が発覚した場合は、次回以降大会に参加できない。**

※ピットクルー受付にて本人確認済みのスタンプが押されたバスのみが有効となる。

(3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付時に変更願を提出しなければならない。

変更料は、MF Jライセンス所持者は、1名につき1,000円、ライセンスが無い者は1名につき2,000円とする。

(4) ピットクルーの追加は、保険の関係上できない。

(5) **事前販売したバドックバスではピットレーン、スターティンググリッドへの入場はできませんのでご注意ください。**

4. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、**7:20から16:00**とする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。尚、エントラント駐車場、ガレージではエンジン始動できませんのでご注意ください。

5. ピット・バドックの使用について

(1) 使用できるピットはNo.12~32、No.1~9とし、No.10・11はオフィシャル用のため使用することができない。尚、No.1~9を使用する場合にはスタート前チェックの妨げにならないよう充分に注意すること。

(2) **ピットは、予選・決勝を通じ行なわれているその当該走行クラスのみが使用することができる。各クラスのピット割りはいりません。**

(3) ピット数の関係上、迅速な搬入・撤収および共同使用を、また、ピット・バドック内等の清掃は各エントラントにて行って下さい。

(4) **前日からの場所取りやピットの専有、ピットとチームテントとの連結は、他の参加者へ大変迷惑となりますので固く禁止します。**

また、チームテントスペースを申し込まれた方の、指定されたスペース以外の占有は固く禁止します。

(5) **車検場近辺のエントラントの使用（荷物を置いたり、テントを張るなど）は、区域に制限があります。車検の妨げにならないよう指示に従うこと。**

6. 公式車両検査

- (1) 時間：別紙タイムスケジュール参照
- (2) 場所：Aパドック内車検場
- (3) 提示物：①参加車両 ②車両申告書（受付印済みのもの） ③ヘルメット・ヘルメットリムーバー・レーシングスーツ
グローブ・ブーツ・脊柱プロテクション・胸部プロテクション
- (4) アンダーカウル付きの車両は、車検時までに取り外すこと。外したアンダーカウルも持参すること。
- (5) センタースタンド・サイドスタンドは、必ず取り外すこと。
- (6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両申告書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること（2台目以降のカメラの取り付けは有料）。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし、突起物となってはならない。走行中に脱落した場合には罰則（罰金を含む）を科す場合がある。
- (7) トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。取り付け場所は、メインフレームピボットシャフト付近とする。
（トランスポンダー及び取り付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体（税込）：50,000円/ホルダー（税込）：1,000円）
- (8) 車検に合格すると、車検合格ステッカーがマシンに貼付けられる。ステッカーが無い場合には出走できない。
- (9) 車検時に申告した内容（ヘルメット等の装備を含む）に変更があった場合には、必ずその内容について車検長に申告し、再車検を受けること。

7. コースイン・コースアウトの補足

- (1) 公式予選のコースインは、Bゲート（コントロールタワー側）より行う。
- (2) 決勝レースのコースインは、Aゲート（最終コーナー側）より行う。
- (3) 予選・決勝のコースアウトは、Cゲート（ピットレーンエンド側）より行う。

8. ピットレーン先端（ピット前）シグナルライトについて

ピットレーン先端のシグナルライトは、緑（コースイン可）、赤（コースイン不可）となる。無灯の場合は、緑燈と同様に扱う。また、公式予選またはレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。

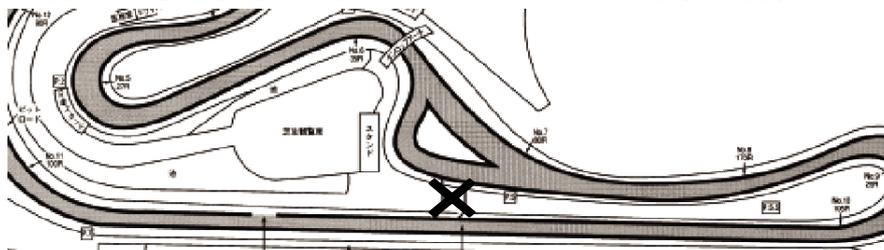
ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと（第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること）。

9. ピットレーン走行時の注意事項

ピットレーンでの違反は重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落とし常に停止できる状態で走行すること。尚、ピットレーンの制限スピードは40km/h以下とし、違反した場合には罰則が科せられる。また、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーンに出るはならない。従わない場合にはその当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられる。

10. ショートカット

ショートカットの使用は禁止される。使用した場合にはペナルティーが科せられる場合がある。



11. 公式予選

- (1) 各クラスの予選開始10分前に1～11番ピット裏側のウェイティングエリアで待機すること。
また、予選中に一度パドックに入ったものは、たとえ予選時間内であってもコースに復帰することは禁止される。
- (2) 予選終了後、ランダムに抽出したマシンに対して、音量測定を行う場合がある。
- (3) 予選は、予定されている予選時間の50%を超えていれば成立とし、基本的に再開は行わない。50%に満たず再開された場合の再予選時間の短縮・延長・終了は審査委員会によって決定される。
- (4) MONSTERクラスの公式予選は2組で行う。予選組の名称はA組・B組とする。組み分け方法は、前大会のグループA進出者をA組にあてはめ、A組の残りの枠に前大会の予選順位に従い上位から順次あてはめる。但し、A組B組は台数が均等になるよう調整を行う。前大会の当該クラスに参加していない者、新規参加者は、基本的にB組となる。
- (5) FORMULA-ZEROクラスの公式予選は2組で行う。予選組の名称はA組・B組とし、予選組はゼッケン順に振り分けられる。
- (6) FORMULA-ZEROリベンジャーを行なう。リベンジャーは、当該クラス予選不通過の選手により行われる。また、当該クラスの予選順位が25位以下の選手については、リベンジャーへの出走を認める場合がある。出走希望のライダーはグリッド表発表までに大会事務局へ申告すること。（但し、決勝レースはいずれかの出走に限る）リベンジャー参加選手も、決勝前ブリーフィングには必ず出席すること。

12. MONSTER Gr. B（グループB）レースについて

- (1) MONSTERの決勝レースを、予選順位に基づいてクラス分けをし、決勝レースを2レース行う。
- (2) クラス分けは、予選正式結果1～33位は「MONSTER Gr. A」、34～66位を「MONSTER Gr. B」とする。
- (3) スケジュールの都合により、減周もしくは中止となる場合がありますのであらかじめご了承下さい。
- (4) MONSTER Gr. B、も決勝前ブリーフィングは行われますので必ず出席すること。

13. 出走嘆願書／リタイヤ届について

- (1) 出走嘆願を希望するライダーは、**予選暫定結果発表後30分以内**に出走嘆願書を大会事務局（サービスセンター2F）に提出しなければならない。但し、**予選に出走していないライダーの出走嘆願は受け付けられない場合がある。**
- (2) 嘆願に対し、決勝レースへの出走の可否が審査委員会にて審議される。その結果はグリッド表にて発表する。（すなわち、グリッド表に名前が記載されていたら出走可能となる。）
尚、**グリッド表は予選暫定結果発表後30分以上を経過した後に発表される。**
- (3) 決勝レースに出場できないライダーは、必ずリタイヤ届を大会事務局まで提出しなければならない。

14. 決勝スタート前チェック

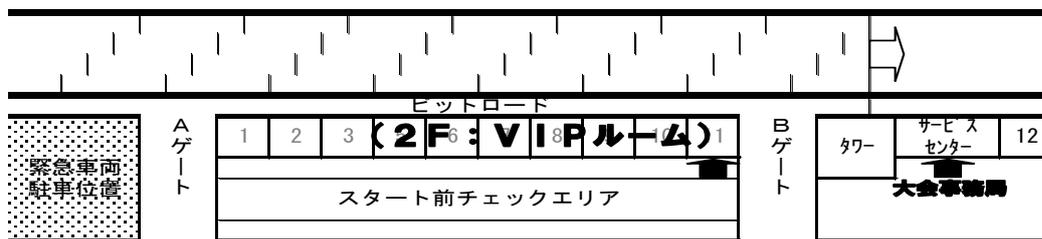
- (1) 決勝スタート前チェックは、**スタート予定時間の25分前に開始し、11分前に終了する。**
尚、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなされる。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) 同時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットをスタート前チェック時に持参すること。

15. 決勝スタート前ブリーフィングについて

決勝レース進行説明および、安全対策のためにライダーズブリーフィングを11番ピット上VIPルームにて行います。最終的な重要事項の確認を行いますので、時間になりましたら必ずお集まり下さい（遅刻厳禁）。遅刻・欠席した場合は罰則が課せられる。

（欠席：5,000円 / 遅刻：2,500円）場合により決勝レースに出走できないこともある。

ブリーフィングは、複数クラスの合同ブリーフィングとなっています。タイムスケジュールをご確認下さい。



16. ウォーミングアップラップスタート方法

- (1) 2分前エンジンスターター（正規の位置から後方よりエンジンをかけ、正規の位置に待機。）
- (2) フラッグタワーより提示されるグリーンフラッグの合図でスタートする。
- (3) **コースを2周してグリッドに整列する。（ウォーミングアップラップは2周行います。）**

17. 決勝レース

- (1) 決勝レースのグリッド配列は**3・3・3・3……**の階段式とする。また、各クラスのグリッド数は下記の通りとする。

クラス	グリッド数
D. O. B. A. R - 2 / ZERO-2・4	36台
D. O. B. A. R - 1 / ZERO-1・3 MONSTER / MONSTER Evolution FORMULA-ZERO	33台
HERCULES SUPER MONSTER Evolution	30台

※混走クラスのグリッド数は、混走するクラス全ての合計台数とする。

- (2) スタート手順

- ① Aゲートよりマシンを押して、コースに入り各自指定のグリッドに整列する。
- ② **グリッド上でタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーターの使用が認められる。マシン1台につきハンディタイプのジェネレーター1台迄可能とし、車両の後方に置いて使用すること。但し、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。**
- ③ **ウォームアップ「3分前」のボードが提示される前に、全ての作業・調整（タイヤウォーマー取り外し含む）を終了しなければならない。**
- ④ **ボードの合図でエンジン始動、ウォーミングアップラップ開始（2周）。**
- ⑤ **ウォーミングアップラップ2周終了後、再び各自指定のグリッドに整列（エンジンは始動したまま）。**
- ⑥ 全車グリッド整列後、フラッグタワーより**シグナル**の合図にてスタート。
※ピットクルーは、エンジン始動後すみやかに自分のピットに戻ることに。ピットに戻る場合は、計時用の光電管装置のあるコントロールタワーの前を横切らないよう注意して下さい。
※スタートでエンジンスターールした場合、全車スタートし安全確認後、オフィシャルのみが再スタートの補助を行う。ピットクルーの補助は禁止する。
※その他、正常にスタートができない場合には、随時オフィシャルの指示に従い行動すること。

- (3) タイムが甚だしく劣る者は、黒旗によりピットインさせる場合があるので、提示された場合には速やかにオフィシャルの指示に従うこと。

18. 決勝レース周回数

各クラス10周とする。但し、モンスターエボリューション（スーパー含む）・F-ZERO・HERCULESは12周、MONSTER Gr. B、F-ZEROリベンジャーは8周とする。完走周回数は、優勝者の周回数の75%（小数点以下切捨て）以上を走行したライダーとする。

19. 赤旗中断されたレースの再スタートについて

赤旗再スタート後の周回数、以下の通りとする。

- (1) 競技結果が2周以下の場合、再レースの周回数は減算される場合がある。再レースの周回数は審査委員会によって決定される。
- (2) 競技結果が3周以上2/3（少数点以下切り捨て）未満の場合、第2レースの有無及び再レースの周回数は審査委員会によって決定される。

20. ジャンプスタートの罰則について

(1) ライドスルーペナルティー

- ① 該当ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードをコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。尚、ライダーからの視認性を高めるため、RIDE THROUGHボードと同時に黒旗がサービスフラッグとして出される。
- ② 当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。
- ③ ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティーを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。

(2) 競技結果への30秒の加算。

(3) RIDE THROUGHボードは5.5番コース監視ポスト（第2ヘアピン内側）でも提示される。

21. 違反行為に対する罰則について

- (1) MFJ国内競技規則に準ずる。
- (2) パーツの落下やオイルをコース上に撒いた当該ライダー及びエントラントに対し、罰則（内容は審査委員会裁定）を科す場合がある。

22. 暫定表彰式

- (1) 各レース終了後、コース上グラウンドスタンド前にて1～6位までの暫定表彰を行います。対象者はコース上の表彰台前まで車両を持って来て下さい。混走クラスは各1～3位までの表彰となります。（タイムスケジュールの都合上、総合結果の1～6位までの表彰になる場合があります。）
- (2) ノンアルコールシャンペンを授与いたしますが、少量のアルコール（0.49%）が含まれておりますので、レース後に運転される方及び未成年の方はお飲みにならないで下さい。

23. 車両保管

各レース終了後に、各クラス1～3位まで車検場にて車両保管を行う。暫定表彰式後に、オフィシャルの指示に従ってマシンを移動すること。車両保管の際には、地震などで容易にマシンが転倒しないようなスタンドを使用するなど配慮して下さい。車両の盗難防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、ライダーのMFJライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。
また、車両保管対象車は排気音量測定を行う。

24. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷した場合は最初に施設の医務室で診断を受けること。医務室に診断記録がないと保険がおりない場合がある。
- (2) 指定病院： 八千代病院 〒300-3551 茨城県結城郡八千代町栗山238 TEL:0296-48-1181

25. 表彰式

全競技終了後の表彰式にて、下記のライダーに正賞の楯を授与する。表彰式はAパドック内コントロールタワー裏付近で行う。尚、賞典の受け渡しは、当日大会終了時までとし、終了後は受け取りを拒否したものとみなします。

クラス	表彰順位	クラス	表彰順位
D. O. B. A. R - 1	1・2位	ZERO - 1	1～4位
D. O. B. A. R - 2	1位	ZERO - 2	1～6位
MONSTER (Gr.A)	1～6位	ZERO - 3	1・2位
MONSTER Evolution	1～5位	ZERO - 4	1～6位
SUPER MONSTER Evolution	1位	FORMULA - ZERO	1～6位
		HERCULES	1～3位

★お知らせ

5月10日（金）に、事前車検（金曜車検）を下記の通り行います

※参加受付を済ませてから車検を受けて下さい。受付印が無いと車検を受けることができません。

【場所】車検場（Aパドック内） 【時間】11:00～12:00 / 13:30～14:45 / 15:00～16:30

パドック間のコース横断・往来について

利便性向上のため下記の部分を横断できるよう各走行のインターバル時に開放します。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。
Bパドック ↔ Aパドック（ドライバーズサロン脇ゲート） / メインスタンド側駐車場（P4） ↔ Aパドック（ガソリンスタンド脇）

Aパドック内ガソリン給油所 営業時間 5月10日（金）7:00～16:00 / 11日（土）6:30～16:00 / 12日（日）6:30～16:00

★お願い 施設内の安全管理のため、エントリー1台に対して消火器を携行して下さい。

☆ご注意 最終コーナー立ち上がりホームストレート左側、縁石（赤白）外側の退避レーン（緑色の部分）は、走行時において転倒や接触を防ぐための緊急回避スペースとなり、原則この退避レーンを通常走行レーンとしての使用は認められていません。これに違反した場合は罰則の対象となる場合がございますのでご注意ください。また、一度路側帯へ出た車両がコース側に戻る際の接触事故が発生しています。細心の注意を払うようお願いいたします。

本通知に記載のない事項は、MFJ国内競技規則および2019テスト・オブ・ツクバ特別規則書に準ずる。



2019テスト・オブ・ツクバ
大会事務局長 渡邊 徳仁